

若松かねしげ四季報(冬季)

参議院議員・公認会計士・税理士 若松謙維
2016年8月16日～12月31日

8月4日の復興副大臣退任後、8月台風の対策に追われる中、9月26日招集の臨時国会より災害対策特別委員長に選任されました。

一方、10か月ぶりに与党に戻り、税制改正、予算編成に追われる多忙の日々を過ごしています。一期一会の思いで、すべての戦いに全力投球してまいります。

1. 政 局

(1) TPP臨時国会とトランプ次期大統領誕生

9月26日臨時国会が召集され、この日、私は災害対策特別委員会委員長に選任されました。

この臨時国会は二つのテーマがあり、一つは世界経済の下振れリスクに対応する第2次補正予算の成立、二つにはTPP（環太平洋経済連携協定）の国会批准でした。

一つの第2次補正予算は10月11日、一億総活躍社会実現0.7兆円、21世紀型インフラ整備1.4兆円、EU離脱不安定性リスクへの中小・小規模事業者への対応0.4兆円、熊本地震、東日本大震災対応1.4兆円等、総歳出4.1兆円の補正予算が成立しました。

補正予算成立後は、今臨時国会最大のテーマであるTPPの審議でしたが、10月14日から審議が始まったにも関わらず、山本農水大臣の2度にわたる失言により委員会審議が混乱し、12回の委員会を経て、11月4日委員会採決、11月10日衆議院本会議採決後、参議院へ送付されました。参議院では、衆議院以上の時間をかけて審議し、12月9日成立しました。

11月8日の大統領選でトランプ候補が勝利し、11月18日、安倍総理が米国に赴き、異例の大統領就任（来年1月20日）前の会談となりました。プーチン訪日の成果は乏しいものの、12月26日には総理として初めて真珠湾をオバマ大統領と訪問するなど、大統領が代わっても日米関係の強固さを十分にアピールしました。

(2) 小池都政誕生と東京都議選

国内では、8月1日の都知事選で、小池ゆりこ元衆議院議員が3百万票近い得票で当選しました。「都民ファースト」を掲げ、豊洲市場、東京五輪等の既存プロセスの見直しを矢継ぎ早に行い、小池新党次第で、来年7月の都議会議員選挙が不透明になってきました。

公明党は常在戦場の衆議院選を意識しながらも、11月26日、全国代表者協議会で、最重点区8名、重点区7名を含む23名全員当選の出陣の会合を行いました。

(3) 平成29年度税制改正と平成29年度予算編成作業

働き方改革の一環として、現行103万円の配偶者控除を150万円まで引き上げる等の平成29年度税制改正大綱が、12月8日開催された自公の税制調査会で承認されました。これに基づき、平成29年度予算編成大綱も決定し、働き方改革、東日本大震災、熊本地震対策、給付型奨学金創設や子供の貧困対策等が盛り込まれた97.5兆円の平成29年度予算が12月22日閣議決定され、ほとんどの年内重要作業が完了しました。

2. 参議院災害対策特別委員長・国会活動・党務

(1) 8月台風対策本部事務局長

8月台風と呼ばれる4つの台風が北海道と東北を襲いました。台風7号（8月17日襟裳岬）、11号（21日釧路付近）、9号（23日日高地方）が北海道に上陸し、私は24日、苫小牧公明党市議らと合流し、通行止めの浦賀国道（235号）を通り、むかわ、新冠、新ひだか3町の被災地を訪れ、首長から被害状況のヒアリングを行いました。

台風10号が8月30日、大船渡市に上陸し、東京都の半分の面積を有する山間地の岩泉町では至るところで山津波が起きました。翌日の31日、8月台風対策本部（井上幹事長が本部長、私は事務局長）が招集され、ほとんどの道路が寸断状態だった岩泉町に唯一、入町できる久慈経由の道があることがわかり、9月2日朝（岩手県知事は同日夕方着）、盛岡から4時間かけて岩泉町役場にたどり着きました。

全町が孤立状態のため、その場で石井啓一国土交通大臣に携帯電話で救援要請をし、石井大臣は3日南富良野町、4日岩泉町と久慈市を視察され、関係者は一様に迅速な対応を評価していました。

翌3日は宮古市の被害状況を視察し、通行不可能な106号線の決壊箇所を2キロの徒歩で現場にたどり着き、被害状況を視察しました。

9月11日は、山口代表に同行し南富良野町の被災現場を訪れ、町全体が浸水する激甚災害を視察しました。

9月19日は若松事務所5人で片し隊を編成し、岩泉町安家地区の泥出し作業を行い、初めて災害ボランティアを経験しました。泥だし作業は予想以上に大勢のボランティアが必要とわかり、災害ボランティア税制の必要性を実感しました。

(2) 参議院災害対策特別委員会委員長と防災士試験

参議院の災害対策特別委員会では、10月24日、十勝帯広方面4市町の視察団の団長として被災地視察を行い、関係自治体および団体と意見交換しました。その視察状況を議論するため、11月18日に審議時間3時間の委員会を招集し、所属委員の質疑応答の議事を進行了しました。

10月15、16日の両日は、金沢市内会場で行われた「防災士資格取得講座」を受講し、筆記試験も合格できました。講座開始前に約200問の事前回答用紙を提出し、さらに3時間の救急救命講座を受けました。全国に11万人の防災士がいますが、自

治体、義務教育施設、病院等に防災士の設置義務化を行い、防災体制強化を図ってまいります。

(3) その他の委員会活動

〔予算委員会〕

予算委員会委員であっても特別委員会委員長のため質疑はできませんが、平成28年度第2次補正予算の審議を行った10月5日、11日、13日の3日間、審議のやり取りを見届けました。

〔環境委員会〕

環境委員会では私がオブザーバー理事ですが、10月20日の委員会では、公明党2人目の委員である長沢復興副大臣が委員会質問できないため、私が他の委員会委員長にも関わらず特例的に質問でき、1年4か月ぶりに大臣所信表明に対して質問しました。(議事録参照)

(4) 党務

① 夏期研修会

夏は公明党伝統の夏期議員研修があり、私は8月17日宮城県本部、21日福島県本部、9月11日北海道本部の研修会にそれぞれ出席いたしました。

② 県本部政策懇談会

公明党が与党復帰し4年目になるため、各団体から政策要望のニーズが増え、8月22日は青森県本部、11月21日は福島県本部、12月3日は北海道本部(4日間実施)の政策要望懇談会にそれぞれ出席いたしました。

③ 党大会・全国代表者協議会・東北方面幹事長

9月17日、党人事を決める隔年開催の党大会が東京国際フォーラムで開催され、再選された山口代表が井上幹事長を指名し、私も中央幹事に再任されました。

この党大会を受け、各県本部の代表人事が行われ、私は東北方面幹事長のため、10月1日は宮城県本部、8日秋田県本部、10日福島県本部、29日山形県本部、30日青森県本部の大会に出席しました。

11月23日開催された岩手県本部パーティーには、山口代表、井上幹事長はじめ遠山、真山、角田衆議院議員と横山参議院議員、計7名の党国会議員が参集しました。

11月26日は、全国代表者協議会が党本部で開催され、明年7月の都議選に向け、23名全員の候補者とともに全員勝利を誓い合う出陣の会合となりました。

福島県本部代表業務

10月10日、山口代表が日本遺産に認定された「安積疎水十六橋水門」(会津若松市)視察と富岡町長(郡山市内役場)との意見交換後、郡山市内で開催された福島県本部大会に出席していただきました。私はこの大会で、甚野源次郎前県議(福島県本部議長就任)の後を受け、福島県本部代表に選出されました。県本部所属35名の議員と団結し、福島復興加速化と真山祐一衆議院議員を含む公明党東北2議席死守のため、全身全霊を尽くしてゆく決意を表明させて頂きました。その後、10月26日は福島総支部、12月18日は会津総支部の2か所の大会に出席しました。

県代表就任後は、執行役員会、幹事会、議員総会等、月数回の会合に出席し、様々

な案件を進めています。

11月22日午前5時59分、福島県沖地震により震度5弱の揺れがあり、津波警報が発令されましたが、午前9時46分に解除されました。私はちょうど郡山の自宅におり、茨城県つくば市の防災関連施設の視察を延期し、いわき市久之浜に直行しました。午前11時頃、避難所の久之浜中学に到着したところ、約50名の避難者はほぼ帰宅していましたが、堤防近くにある高さ18メートルの防災交流センターには、早朝で職員不在にもかかわらず、1階の「蹴破り戸」を破り、35名が避難されたとのことで、日ごろの地域防災訓練の成果が実り、高齢者、障がい者等の避難がスムーズになされたことが確認できました。しかし、自動車避難もあり、一部渋滞が発生した反省点も住民から伺いました。

その後、引き続き避難準備指示を出している広野町役場に行き、町長と避難所へ行き、午後1時30分の避難指示解除を見届けました。

④ 公明党復興加速化本部

11月16日、公明党復興加速化本部を開催し、東日本大震災復興状況の国会報告書の審議を行いました。白書の内容とはいえ、8月24日の「東日本大震災 復興加速化のための（自公）第6次復興提言」が十分反映されていなかったため、参加者の指摘で変更させました。

12月9日は東電委員会の議論を聞き、15日は「原子力災害からの福島復興加速化基本指針」を審議しました。

⑤ 政務調査会業務

復興副大臣を退任し、党職務に復帰しました。政務調査会の役職として、環境部会長代理と復興・防災部会長代理に就任し、部会長の業務を支えています。

参議院選・国会外活動

（1）統一外選挙

9月4日告示日のいわき市議選には、8月29日の台風10号による強風と雨の中、いわき市内で支持拡大を訴え、9月4日の告示日は塩田みえこ候補の出陣式、5日は柴野みか、小野しげる、塩田みえこ3候補の応援演説をさせて頂きました。

（2）首長選応援

蔵王山の火山噴火警報に関わった蔵王町長選では9月20日の告示日、投票日2日前の10月21日には菅野公明市議と同期の白石市長選候補者を市内3か所の会場で応援演説し、僅差で勝利できました。ともに、公明党支持者が選挙の中心的な役割を担っていました。

（3）党員会

9月21日は岩沼市の党員会に出席し、地元市長、自民党県議、公明党市議そろい踏みのお会合となり、自公の深化を感じました。22日川俣町と伊達市の党員会に出席しましたが、ここは公明党関係者のみの開催となり、地域差を感じました。

12月7日は、仙台市泉区の小田島、佐藤両市議の党員会に出席しました。配偶者控除、IR法案、年金強化法等、ホットな政治課題を報告しました。

12月21日は、滝沢市、盛岡市2か所の党員会に出席させていただきました。

(4) 視察および講演

《9月25日》 5年前に竹谷とし子参議院議員の協力を得て、女川町の避難者に喜んで頂いたマグロ解体ショーから5年経った町の復興状況を、須田女川町長から伺いました。丁度さんま祭りが行われており、大変な人だかりでしたが、シーパルピア商店街の気持ちは高く、町民のアイデアが結集した街並みは素晴らしかったです。

《10月17日》 福島市内のカトウファームを訪ね、福島フードファンクラブ（FFF）の福島ファーマーズクラブに参加した60町歩の県内有数の米専業農家の経営課題を聞きました。この時の様子が公明新聞1面に紹介されました。

《10月23日》 南相馬市の鎮魂市民植樹祭に参加しました。当日は広葉樹21種類3万本が、2千人のボランティアにより植樹され、広大な海岸線が20年後には森林になる様子を想像し、胸が熱くなりました。

《10月27日》 東京工業大学先進エネルギー国際研究センターで講演させていただきました。私の「福島再エネ100%イノベーション」政策を300名の技術者に訴え、その様子が日本経済新聞で紹介されました。

「究極の芋煮会」と称した自公一体の会合が、10月14日は天童市、11月2日は鶴岡市で開催されました。全員がカラオケに参加し、山形2区と3区の自民党衆議院議員と真山祐一衆議院議員も参加され、当時の政局モードの中での明るい会合となりました。

《12月10日》 安倍総理出席の下、常磐線新地駅で相馬一浜吉田間運行再開の記念式典に出席しました。平成31年度までの全線開通に全力を尽くします。

《12月20日》 参議院議員としての3年間は、東日本大震災の対応に追われ、福島、宮城、岩手の被災3県に現地訪問が集中していましたが、日本海側と岩手県北部を訪問するため、青森県深浦町、五所川原市、21日は岩手県二戸市、八幡平市、葛巻町、滝沢市の首長、22日は山形県村上地方の有力者とじっくり懇談しました。

(5) 後援会および地元活動

〔仙若会〕

仙台市で行われる仙若会の暑気払いが8月25日行われ、参議院選挙大勝利の喜びあふれる会合となり、ビンゴゲームで提供した賞品は日ごろ頂く土産等でしたが大変好評でした。12月1日の忘年会では真山祐一衆議院議員に初参加していただき、若い議員に大きな期待が集まりました。

〔CPAポリティックス〕

10月17日、都内でCPAポリティックスフォーラムが開催され、「国家の資金繰り」と題して、財務省国際機構課と国債企画課の職員を講師に迎え、私の強い関心の政策課題を、公認会計士の方々と意見交換しました。

〔会津イノベーション〕

10月29日、会津では初めて若松事務所主催で開催した「福島イノベーション研

研究会」で講演させていただきました。室井照平会津若松市長、菅家一郎衆議院議員にも出席していただき、会津の未来を語る機会となりました。

〔上尾市国政報告会〕

11月11日、この季節に年1回開催する「国政報告会」が上尾市内で行われ、130人の出席を頂きました。太田昭宏公明党議長に出席していただき、ここでもビンゴゲームで大いに盛り上がりました。

〔上尾シティーマラソン〕

11月20日、「減酒増走」をモットーに練習を重ね、昨年より1分以上速い26分54秒で5kmを走り切りました。1,788人中640位、60歳以上の部（全体の14%）251人中28位と、3年ぶりの記録向上ができ、日々の体力維持に努めてまいります。

〔郡山市第九合唱団〕

上尾市で第九合唱団を立ち上げた経験がありましたが、この数年間、合唱団に入る機会がありませんでした。郡山市の友人紹介で郡山市合唱団に入団させて頂き、1月9日の発表会を目指し、475人の合唱団の一員として、新幹線移動中に練習しています。

5. 若松事務所の現況報告

①国会事務所（恩田政策秘書、菊地秘書）

恩田さんと菊地さんがサポートしています。党務に戻り、党の会合が多くなり、福島入りが減少せざるを得ない心苦しさを感じています。

*東京都千代田区永田町2-1-1参議院議員会館1207号室
Tel:03-6550-1207 Fax:03-6551-1207

②福島事務所（佐藤公設第1秘書）

県都福島市の事務所を陣場町から浜田町に移転し、甚野議長にも活用していただいています。福島市庁舎近くにありまので、ぜひ、お寄りください。

*福島県福島市浜田町4-16富士ビル1階
Tel:024-572-5567 Fax:024-572-5587

③盛岡事務所（太田公設第2秘書）

北東北3県（岩手・青森・秋田）の活動拠点として、盛岡市に事務所を設けています。

*事務所：岩手県盛岡市茶畑2-10-8ササエイビル2階（公明党岩手県本部内）
Tel:019-656-7761 Fax:019-656-7762

④上尾事務所（資金管理団体〈市民フォーラム〉の活動拠点であり、妻がサポートしています。）

*事務所：埼玉県上尾市仲町1-4-16
Tel:048-777-3515 Fax:048-777-3516

以上